



新しい年を迎えると同時に、今年度の方針や目標を振り返り、その経過や結果を振り返るまとめの時期となりました。お互いに学び合う気持ちを大切に、同じ学年や教科、お近くの先生や管理職の先生方と【OJT…校内での学び合いや教え合い】を進めていきましょう。

第 43 回仙台市教育課題研究発表

12月26日(火)に「第43回仙台市教育課題研究発表会」が開催されました。今年度の発表者数は教育センターで65件、東二番丁小学校では17件の発表があり、延べ**1,242名**の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

参加した先生からは、「先生方の日々の実践に触れる機会は限られているため、とても貴重な意見を聞くことができ勉強になりました。特に、**道徳の発表は、校内 OJT の際にも、質問の多かったところだったので、大変参考になりました**」という声が聞かれました。



ちよつと一息【道徳コーナー】

考え、議論する道徳

道徳教育における評価の意義として、「学習における評価とは、①児童生徒にとっては、自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくものであり、②教師にとっては、指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるものである」と示されています。

他教科において、授業のねらいと評価は表裏一体の関係にある場合が多く、ねらいがあり、児童生徒がそのねらいを達成できたかどうかを評価します。しかし、「特別の教科 道徳」においては、教師が教師自身を評価します。ねらいに迫れるよう、子供たちに考える場面を作ることができたかが教師への評価（授業の評価）となります。

* 次号で児童生徒への評価について取り上げます。

他の教科で言う評価と道徳科の評価では違った性質を持つことを押さえることが大切ね。道徳科においては教師への評価（授業評価）と児童生徒への評価があるということね。

新学習指導要領に向けて④

小学校国語科

小学校国語科の学習内容の改善点は五つです。

- ① 語彙指導の改善・充実
- ② 情報の扱い方に関する指導の改善・充実
- ③ 学習過程の明確化、「考えの形成」の重視
- ④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実
- ⑤ 漢字指導の改善・充実

漢字指導の改善・充実

児童の日常生活及び将来の社会生活、他教科の学習における必要性から、**都道府県名に用いる漢字が「学年別漢字配当表」の第4学年に加えられます**。それに伴い、第4学年、第5学年、第6学年の配当漢字と字数が変更となります。

詳しくは、小学校学習指導要領解説国語編 P17、18を御覧ください。

移行措置として、平成30年度の第4学年、平成31年度の第4学年及び第5学年においては、新学習指導要領の学年別漢字配当表に配当されている漢字を指導することになります。

梨 茨 暖 岐 橋 瀧



【センター研修 2018 に向けて】

センター研修…各課(室)公所が一体となって OJT を支える集合体の校外研修

センターでは、来年度の研修に向けての準備に入っています。

センターの研修は、「仙台版・いきいき教職員づくり研修構想」を基に、教職員のキャリアステージに応じた研修を設定し、教員としての専門性や能力、指導力の向上を目指しています。

「いきいき教職員づくり研修構想」では、教員、学校事務職員だけではなく、養護教諭の求められる姿と力量も示し、研修も充実させていきます。

このことについては、**2月21日(水)**のセンター研修等説明会で、新しい研修内容を掲載した『**センター研修 2018**』を配付し説明いたします。各校の教頭先生方が対象の説明会(悉皆)となりますので、出席をお願いいたします。